

授業科目名	学校経営論
科目番号	CB24031
単位数	2.0 単位
標準履修年次	2 年次
時間割	春AB秋AB 木3
担当教員	濱田 博文
授業概要	近代学校というシステムにおいて「経営」が必要とされるようになったのはなぜか? 「学校経営」という概念はこれまでどのように理解されてきたのか、また、捉え直されてきたのか? 学校教育が多様で複雑な課題に直面し様々な教育改革が進められる現代において、「学校経営」のあり方をどのように考えればよいのか? これらの問いを中心に据えて、講義と討議を織り交ぜながら進めていく。
備考	対面
授業方法	講義
学位プログラム・コンピテンスとの関係	教育学の基礎的体系的知識 教育学における総合的思考力 教育学に関する先導的発信力
授業の到達目標(学修成果)	(1)現代公教育の意義を踏まえて学校経営の在り方を考えることができる。 (2)戦後における学校教育の発展過程を踏まえて学校の今日的課題を考えることができる。 (3)現代教育改革の特徴と学校経営関連施策の内容を説明することができる。 (4)学校組織の特徴を理解したうえで学校経営の在り方を論じることができる。 (5)学校の自律性を踏まえて学校・地域・保護の関係の在り方を論じることができる。
授業計画	近代学校というシステムにおいて「経営」が必要とされるようになったのはなぜか? 「学校経営」という概念はこれまでどのように理解されてきたのか、また、捉え直されてきたのか? 学校教育が多様で複雑な課題に直面し様々な教育改革が進められる現代において、「学校経営」のあり方をどのように考えればよいのか? これらの問いを中心に据えながら、現代の学校教育システムを理解するための基礎知識を学び、学校改善の具体的事例を検討する。講義と討議を織り交ぜながら進めていく。 第1回 イントロダクション: 「学校」とは何か? 第2回 学校経営の意味と意義 第3回 学校教育の質を決定づける諸要因 第4回 教授・学習活動と学校経営の関係 第5回 戦後における学校教育の発展過程 第6回 学校経営の近代化論と現代化論 第7回 学校病理の噴出と教育改革 第8回 教育行政の集権化から地方分権・規制緩和へ 第9回 学校の自主性・自律性の確立に向けた教育改革 第10回 学校ガバナンス改革の中の学校経営 第11回 学校組織の構造 第12回 学校組織の特徴 第13回 学校改善研究の展開 第14回 学校の組織文化 第15回 教授・学習組織改革の展開と課題 第16回 学校参加の理論と実践 第17回 学校安全と学校経営

授業計画	第18回 学校の危機管理 第19回 「チーム学校」論と学校経営 第20回 学校経営の現代的課題と研究課題
履修条件	特になし。
成績評価方法	議論への参加の積極性と小レポート（50%）、課題レポート（50%）の内容に基づいて評価する。
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	講義(70%)、討議(30%) テキスト、テキストに挙げられた授業に関連する文献・資料を読むこと。
教材・参考文献・配付資料等	1. 浜田博文, 『学校経営』(ミネルヴァ書房, 2019年) 2. 浜田博文, 『教育の経営・制度《新・教職課程シリーズ 第3巻》』(一藝社, 2014年) 3. 浜田博文, 『学校を変える新しい力 教師のエンパワーメントとスクールリーダーシップ』(小学館, 2012年)(電子版, 2021年) 4. 浜田博文, 『「学校の組織力向上」実践レポート』(教育開発研究所, 2009年) 5. 日本児童教育振興財団, 『学校教育の戦後70年史』(小学館, 2016年)
オフィスアワー等(連絡先含む)	木曜日 16:00~17:00(来室前にメールで連絡ください。) hamada at human.tsukuba.ac.jp http://www.human.tsukuba.ac.jp/~hamada/
その他(受講生にのぞむことや受講上の注意点等)	小レポートと課題レポートは必ず期限までに提出すること。教育学の基礎的な知識・教養を蓄えるとともに, 教育学的視点をもって発言できるようになってほしい。
他の授業科目との関連	CB24032 学校経営論演習
ティーチングフェロー(TF)・ティーチングアシスタント(TA)	TAあり(1人)
キーワード	近代学校, 公教育, 学校組織, 学校経営, 学校改善, 学校の自律性, 教職の専門性